



鵜鮎つうしん

岐阜ダルクニュースレター平成29年冬号(63号)

今年も1年ありがとうございました



施設長 遠山香

街中にイルミネーションが輝く季節になりました。LEDの普及で電気料金があまりかからないことから、透き通るような光で華やかさはいいです。しかし、10年以上前は、豆電球のイルミネーションでとても温かみのある雰囲気でした。その頃のイルミネーションの方が好きだったなと思います。便利になることで失われるものがあるようです。

ダルクでは、公共交通機関を使ってとにかくよく歩きます。携帯電話を持たず、CDを聞くのをやめることで本や新聞を読む。ネットで簡単に検索することをやめて、分からない言葉は辞書をひく。電車の時間を調べるときも駅に直接行ってみる。レクリエーションを計画する際は、行き先に電話をかけて人の話をよく聞いて調べます。

デジタルな生活から離れてアナログな生活をするの中で、新鮮さや発見が多く、得るものがたくさんあります。薬物を使うことにより心や体の痛みを即効で消すことをしてきた仲間達には、物事にゆっくりと時間をかけることで丁寧に生きることを積み重ねていく経験をしてもらうことが依存症からの回復にとっても大切なことなのです。ダルクで行っている遊説的な行動です。

さて、今年も残り少なくなりました。皆様にとってどんな年でしたでしょうか？岐阜ダルクでは毎週日曜日にはあちこちの教会に出かけていきました。多くの方々に活動紹介と体験談によるメッセージを届ける機会をたくさんいただきありがとうございました。

また、ニュースレターを読んでいただいている方々。ご支援をいただきました皆様に心からお礼申し上げます。皆様のご支援により活動が続けられ感謝の気持ちでいっぱいです。

仲間の体験談

クロ



依存症のクロです。

岐阜ダルクに入寮して3カ月。プログラムを通して今までの自分と向き合っています。高校生になって、自分がゲイ(セクシャルマイノリティ)だということに気がきました。はじめはすごく悩んだけど、自分と同じセクシャルティーの人たちと知り合っていくにつれ不安は無くなっていました。毎晩のようにバーやクラブで遊んで、何をするのも新鮮で楽しんでいました。

20代が終わる頃、友達に合法ドラッグだと勧められ使用したのが覚醒剤でした。その一回から売人が逮捕されるまで薬の使用は止まりませんでした。自分の意志ではなかったけどこれで薬を使わない生活に戻れると少しほっとしました。それから薬を使わない生活になり、やりたかった新しい仕事にも就け、充実した毎日を楽しんでいました。

1年過ぎた頃、インターネットの掲示板で中傷する書き込みをされていることを知りました。始めは気にせず、誰かが僻んでるだけ、誰かが妬んでるだけ、自分は注目されているとプラスに考えるようにしました。でも書き込みはどんどんエスカレートし、周りの人たちまで書かれるようになりました。大切な人々を巻き込んでしまったことに傷つき落ち込みました。そんなとき薬を持った友達が現れました。

辛いことから逃げたくて、嫌なことから逃げたくて、また昔の自分に戻ってしまい、今度は薬から逃げられなくなってしまいました。

もうどうすることもできず母親に全て話しました。家族とも話し合い、依存症専門の先生のいる病院へ入院し、そして岐阜ダルクに入寮しました。ここで新しい自分を探し、新しい生き方ができるよう仲間達と一緒に頑張っています。

マユ



アルコール依存症のマユです。

岐阜ダルクに入寮して約1年3ヶ月になりました。といっても入ってすぐ、両手を骨折するというハプニングがあり、2ヶ月間入院しました。退院してからだと11ヶ月です。両手を骨折した時は、手が使えないことがこんなにも不便だとは思わなかったし、リハビリにずいぶん時間がかかりました。今は以前の9割位までは回復しています。

抜釘のための入院時にステップ4(棚卸)の提案があり、数ヶ月かかって書きあげ、ステップ5を終了しました。

それから就労の提案が出て、コンビニでのバイト探しの日々。経験はないし、年齢的にも採用してもらえなさぐ不安でした。何とか現在の状況でも雇っていただけるお店が見つかって、週2回働いています。

レジを打ったり、商品を並べたり、支払方法を聞いたり…慣れない仕事なので、私がいるとかえって足手まといなのでは!?と思うこともしばしば。お客様の言うタバコの銘柄は宇宙語のように聞こえるし、クレジットカードは反対向きにスキャンするし、おつりはモタモタしている上、間違えるという最悪さ。

ただ、今までと違うのは、「これはプログラムなんだ!!」と思うと、バイトが終わった後には、「ベストを尽くした」達成感があることです。コンビニは、利用する立場から反対になると、以前とは全く違う感覚でやりがいを感じます。

全国の中間施設の会議のため石垣島にも連れて行っていただきました。青い海、白い砂浜に沈む夕陽に出会えました。会議のテーマは「スピリチュアリティ」だったのですが、心の底から、回復を願って祈れました。もう一度与えられた命と思って、与えられたものに感謝しながら、回復のプログラムに一層と組んでいきたいと思っています。

ボランティアだより



中村 崇先生

岐阜ダルクを支えていただいている方から、土岐で活動されている陶芸家の中村先生をご紹介いただき、今年の1月から毎月1回本当に温かい雰囲気の中で陶芸を教えていただいています。仲間達は思い思いの作品を作って楽しんでます。

作った作品をバザーやフリーマーケットに出品しました!!

売れるのはまだまだ先の話ですが・・・(^_^;)

中村先生に私達から質問をしてみました。

- ダルクで陶芸を教えてみようと思ったのはどうしてですか?
新たな“人との出会い”とみんなで何が出来るか?への期待。
- 初めてダルクの仲間と会った時、どのような印象でしたか?
なんか皆、礼儀正しくて、コミュニケーションをしっかりとられるので驚きました。
- 陶芸を教えている時に気に掛ける事など何かありますか?
皆の持っている世界観(興味の先・個性)を大切に、それができるだけ作品に反映する様にアドバイスさせてもらっています。
- 仲間達の作る作品は先生から見てどうですか?
毎回どんな作品が産み出されるのか?非常に楽しみにしています。
皆それぞれに個性があってセンスを感じてワクワクします。
- ダルクで陶芸プログラムを行ってきてどのように感じていますか?陶芸の魅力は?
僕は陶芸や何かを作る事で、多くの人達と関わりを持たせてもらっています。なので陶芸ができる事で自分は救われていると思います。ここでダルクの方々と関わって楽しい時間を過ごす事ができています。僕の思っていた以上に、皆の制作へのこだわりや、集中力には感心させられます。また、それぞれが制作した作品を囲んで笑いが絶えない雰囲気がとても好きです。



活動報告

10月

- 11 各務原病院メッセージ
薬物電話相談日
- 14 薬物電話相談日
- 15 カトリック岐阜教会バザーお手伝い
カトリック南山教会にて活動紹介
レクリエーション
(バスで岐阜めぐり)
- 21 フラワーセラピー
薬物電話相談日
- 22 岐阜ダルク家族会
カトリック小牧教会にて活動紹介
- 24 笠松刑務所薬物離脱指導
- 26 ヨーガ 27 陶芸教室
- 28 NAハロウィンイベント参加
カトリック宮教会バザー準備お手
伝い、薬物電話相談日
- 29 カトリック宮教会バザー参加
カトリック東山教会にて活動紹介
ルーテル岐阜教会ワーク
- 30 ルーテル岐阜教会ワーク
- 31 笠松刑務所薬物離脱指導

11月

- 2 ダルク後援会会議
- 4 薬物電話相談日
- 4-8 JCCA会議 in 石垣島
- 8 各務原病院メッセージ
薬物電話相談日
- 9 ヨーガ
- 11 ルーテル岐阜教会バザー手伝い
男女共同参画推進サポーター交流会参加
薬物電話相談日
- 12 岐阜ダルク家族会
ルーテル岐阜教会バザー参加
カトリック東山教会バザー参加
- 18 薬物電話相談日
- 19 カトリック布池教会にて活動紹介
- 21 地域支援連絡協議会
- 22 レクリエーション (郡上八幡めぐり)
- 24 陶芸教室
- 25 アログループスピーカーミーティング参加
薬物電話相談日
- 26 岐阜ダルク家族会、フラワーセラピー
日本キリスト改革派大垣教会にて活動紹介
- 28 笠松刑務所薬物離脱指導、ケア会議
- 30 東尾張病院ケア会議、ヨーガ

12月

- 2 香川ダルクフォーラム参加
薬物電話相談日
- 3 フリーマーケット
- 6 ニュースレター発送作業



こんにちは。
ステップだわん。
今ダイエット中だわん。
くびれてきたわん??

私たちが作った陶
芸作品も買って
いただきました。
本当にありがとう
ございました。

11/4~8 JCCA in 石垣島



●研修会では貴重な体験談や講演を聞くことができ、岐阜ダルクの
仲間4人で行動した石垣島めぐりもスピリチュアルな体験での
感動と笑いあふれる最高の4日間になりました。 でいちちゃん
●石垣島は本当に良い所でした!!
お酒のない旅行って楽しいぞー!! マユ

芸術の秋!! ダヴィンチ展に行ってきました。



●世界史Bを勉強した時に本を見て、ミケランジェロの
絵を覗きたいと思っていたら、与えられました!!
この時代の人の観察力にただただ、感動!! ケイコ

11/12 ルーテル岐阜教会バザー参加



色々な品物を
キレイに並べて売り
ました。

●岐阜ダルクでは、月に1度陶芸プログラム
があり仲間たちが作った作品をバザーで
出品させていただきました。

10/29 カトリック宮教会バザー参加



バザー初
体験!!
商品を並
べたり、説
明したり、
こういう
楽しみも
あるんで
すね。

●あいにくの雨でしたが教会の皆様が仲間たちの作
った陶芸作品を買って行ってくださいました。
ありがとうございます。

11/12 カトリック東山教会バザー参加



●カトリック東山教会には、バザー初参加させていた
いただきました。来年もよろしくお願ひします。

10/15 カトリック岐阜教会バザーお手伝い



ほかほかのラ
イスに、じっ
くり煮込んだ
パイナップル
入りのカレー
をお客さんに
提供しました。

●カトリック岐阜教会は、毎年焼きそばや、カレーを
作って売ってお手伝いをやらせていただいています。
今年は、たご焼きに初挑戦した仲間もいました。

10/20 レクリエーション
(バスで岐阜めぐり)



●岐阜にも大仏様が!!
周りには煩惱の数ざらつ
と108体の神様達の像
がならんでいました。
THE ハイヤーパワー。
クロ

11/22 レクリエーション
(郡上八幡めぐり)



●郡上八幡は、水と踊りの城下町で有名ですが、今回のお目当
ては、食品サンプル作りの体験です。郡上は食品サンプル発
祥の地でもあるらしいです。タルトやピザなどを作って楽し
みました。 ジュン



ステップ
ハウス
避難器具
設置

●ステップハウスの
4階から避難用のロ
ープでつられて下
の道路に着地しま
した。窓からビョ
ンッと飛び降りる
時のあのスリル
は、はんばなく興
奮しました!! あやか

12月

- 7 ダルク後援会会議
- 9 薬物電話相談日
- 10 岐阜ダルク家族会
日本キリスト改革派多治見教会にて
活動紹介
カトリック江南教会にて活動紹介
カトリック五反城教会クリスマス会
参加
- 11 各務原病院メッセージ
- 13 ヨーガ 16 薬物電話相談日
- 17 岐阜聖パウロ教会にて活動紹介
フリーマーケット
- 20 笠松刑務所薬物離脱指導
- 22 陶芸教室 23 薬物電話相談日
- 24 岐阜ダルク家族会
ルーテル岐阜教会クリスマス会
- 25-26 岐阜ダルク忘年会 (下呂温泉)
- 28 ヨーガ
- 31-1/2 NA 年越しイベント参加

活動予定

11月

- 6 薬物電話相談日、フリーマーケット
- 10 薬物電話相談日
- 13 薬物電話相談日
- 14 関キリスト教会にて活動紹介
岐阜ダルク家族会、フリーマーケット
- 18 家族教室
- 20 薬物電話相談日
- 21 笠松キリスト教会にて活動紹介
ルーテル岐阜教会もちつき
- 27 薬物電話相談日
- 28 岐阜ダルク家族会

スタッフ 山田 興久



11月5日から7日に開催された「日本カトリック依存症者のための会 (JCCA)」のセミナー参加のため、仲間4人で石垣島に行ってきました。

JCCAは、自分より偉大な力(ハイパーパワー)に自分自身を委ねて生きようとする12ステップに基づいて依存症者の回復を支援しているダルクやマック(アルコール依存のリハビリ施設)66団体が構成されています。

今回は、目には見えない偉大な存在とのつながりに気づき人生に意味と目的を見いだせるようになる「スピリチュアリティ」をテーマにしたセミナーで、全国から集まった多くの仲間が精神科医やカトリック司祭の方の講話や仲間の体験談を聞き、ヨーガの実習を受けました。アルコールに依存して家を追い出されホームレスになった状態から回復してきた仲間の話には心をうたれましたし、講話で自分を許すことの大切さを知り教えられた方法を実践し始めた仲間もいました。全体を通して、仲間の中で12ステップを実践することでスピリチュアルな回復をめざすことへの意欲を強めることができたように感じています。

また、島をめぐる時間も取れました。すぐ近くの竹富島に渡って、水牛の牽く車に乗りました。レンタカーで石垣島を回りました。島の端から端まで1時間もかからない程の大きさですが自然の豊かな島で、展望台から見た長く伸びる水平線に地球の丸さを感じることができました。自分たち以外誰もいない砂浜から見た夕陽に言葉が失いました。ずっと雨や曇りだった空の雲間に現れた真っ赤な太陽の美しさに心を奪われ、4人でただ立ちつくし、見つめました。「ハイパーパワーだね」とつぶやいた仲間の声が残る瞬間でした。これからも回復の道を歩み続けようという思いを新たにできた旅でした。



「力を合わせて」

岐阜ダルク後援会
会長 齋藤幸二



浦上教会の前で ルーテル教会牧師団と日本カトリック司教団

11月23日の祝日に、長崎県の浦上教会でルーテル教会と日本カトリック司教団の「宗教改革500年記念共同礼拝」が行われ、1200名以上の方が参加されました。1517年に宗教改革運動が始まってからルーテル(ルター一派)教会とカトリック教会は分裂していました。しかし1967年から双方の対話が始まり、ルターの説いた教えも共有され、今回の500年記念では世界のルーテル教会とカトリック教会が一致と和解のスタートを切ることができたのです。とはいえ、日本ではすでに双方の教会はいろいろなところで協力しています。この岐阜ダルクの理事長さんはカトリック教会の司祭であり、後援会長はルーテル教会の牧師です。またダルクの働きには仏教界の方も加わってくださっていますし、それ以外の方も助けてくださっています。

この社会が抱える課題のために、これからも、様々な立場の人々が力を合わせて行けたら、と思っています。

女性ハウスだより

女性ハウス責任者
勇 陽子



だんだん寒い季節になってまいりましたが、いかがお過ごしでしょうか。現在女性ハウスは、6名で毎日プログラムを行っています。最近入寮した仲間もダルクの生活に少しずつ慣れてきて、ワイワイガヤガヤとハウスにもぎやかになってきました。

最近、アルバイトへ行き始めた仲間がいます。仲間の色々な変化によって、プログラムに対しての意識が良い方へ変わる仲間もいます。仲間一人一人にとって良い方向へ進めばいいなと思っております。

以前、女性ハウスで季節外れでしたが「秋の花火」をしました。そして先日、女性ハウスで初のクリスマスツリー用の木を購入し、仲間と飾りつけをしました。私自身、あまり季節感のある行事に関心がなすぎた為、ハウスの仲間から提案がありやってみました。やってみると自分が想像していた事より楽しく取り組みました。クリスマスツリーは本物の木(ゴールドクレスト)をホームセンターで購入したので、年ごとに大きなクリスマスツリーが出来る事が楽しみになりました。

いつも私たちの活動を支えて頂き心から感謝しています。

どうかこれからもよろしくお願い致します。

感謝の内に

ご支援・ご協力をいただき心から御礼申し上げます

献金者名（平成29年9月29日～11月13日）敬称略

永嶋恵美 伊藤直美 下林聡 河合深 援助修道会・名古屋修道院 田口大輔 福野照代 前田功 加茂保護区保護司会 木下容子 北谷雅春 弁護士・山本亮 弁護士・伊藤知恵子 加藤洋子 堀尾佳広 光楽英生 笠松希代美 岐阜キリスト教会 NPO 法人キッズスクエア瑞穂・矢野幸子 大森正樹 長谷川弘知 井川澄枝 もとす更生保護サポートセンター・会長・大西徳三郎 岐阜山県保護区保護司会・会長・岩田輝雄 更生保護法人・岐阜県更生保護事業協会 岐阜県保護司会連合会 小山寺・中西東峰 長田尚人 藤本弘 水野滋子 渡辺真帆 市岡多賀賜 多治見市立笠原中学校 北村幸子 川西通子 石川恭二 カトリック岐阜教会 細江由喜子 吉田元子 中京大学スポーツ科学部・家田重晴 勇昭代 カトリック津島教会 渡辺彩子 阿部賢彦 アガベチャーチ牧師・大橋健治 青井初恵 ガチャピン 吉田和郎 中堀美保子 中道美保子 城後碧 多治見中央キリスト教会 堀田宏之 教賀カトリック教会の皆様 カトリック南山教会の皆様 カトリック小牧教会の皆様 カトリック東山教会の皆様 カトリック一宮教会バザー委員会 福島春美 追立涼子 養清興業株式会社 匿名者多数

献品者名（平成29年9月29日～11月13日）敬称略

白井さん 齋藤幸二 教賀カトリック教会の皆様 石川さん カトリック岐阜教会 有安祥子 岡本敏孝 青木誠二 柳原清盛 ケンイチ 益田清風高校インターアウトクラブ 匿名者多数

※お名前記載につきましては注意を払っておりますが、万が一お名前の誤字・脱字または記載漏れなどございましたら、誠に申し訳ありませんが、ダルクまでご連絡をいただきますようお願い申し上げます。

※発送作業簡略化のため皆様全員に振込用紙を同封させていただいておりますことをご了承下さい。また匿名希望の方は、恐れいりますが、その旨を振り込み用紙通信欄にその都度ご記入下さいますようお願い致します。

※岐阜ダルクでは岐阜ダルク及び女性ハウスの2施設の地代家賃、水道光熱費、専任スタッフの件費等、毎月一定の固定費がかかる一方、「中間施設」の性格上、きわめて財務基盤が不安定で、皆様方のご寄付が欠かせません。引き続きご理解とお力添えをお願い申し上げます。

岐阜ダルク 郵便振替口座 00840-5-167752 岐阜ダルク後援会

※Step houseの新しい電話をひきました。TEL&FAX:058-201-3555（日中はこちらにご連絡をお願いします）

※バザーや地域のフリーマーケットへの参加を定期的に行っていきます。

ご家庭で眠っている新品のタオルや家庭用品や衣類などがありましたら献品のご協力をお願い申し上げます。たくさんありましたらダルクから近郊の方でしたら取りに伺わせていただきますのでご連絡下さい。（058-201-3555）

編集 特定非営利活動法人 岐阜ダルク
編集担当 岐阜ダルク後援会 齋藤幸二 鈴木輝一郎
〒500-8175 岐阜市長住町7-3 TEL/FAX: 058-251-6922
Email: gifudarc2004@yahoo.co.jp
ホームページ: <http://gifu-darc.sakura.ne.jp/>
ダルク日記『今日もぐるぐる』: <http://darcblog.sblo.jp/>
2017年 岐阜ダルクニュースレター平成29年冬号 (No.63)
定価 1部 200円
編集責任者 遠山 香
発行所 東海身体障害者団体定期刊行物協会
名古屋市中区丸の内3-6-43 みこころセンター

